

科目名		テーマ		
経営情報		経営情報システムの発展、製造・流通・金融・行政における情報システム、システム構築の進め方、経営情報の意味合いと情報システム、戦略情報システム、グローバル経営情報システム。		
担当者名	配当年次	単位数	学科	選択・必修 / 指定科目
三重野 徹	3	2	経済情報学科	選択 / 教職課程科目 (商業)

[授業の内容・到達目標]

今日の経営情報システムはMISから始まりDSSという意思決定分野に進み、DWH、BIの発展に伴い大きく進歩した。これは情報技術の進展がなされてきた結果である。一方で多くの企業がグローバル化しており、こうした中での経営情報システムの構築は新たな局面を持ってきている。今日ではマネージメント・ダッシュボードと言われるトップ・マネージメント・システムから始まる経営管理システムと経営を支える実務管理業務でのシステムが使われており、旧来のシステムのあり方が変わってきている。これらに関して具体例を交えて理解してもらうことを講義では行なっていく。また、経営情報システムの構築方法についても学ぶ。このことによりいかに経営情報を鮮度も含めてタイムリーに得ることが大切かをわかってもらう。システムの構築方法ではシステム・エンジニアという職種が、今日ではいくつもの職種になっており、この役割を理解することでシステム構築プロジェクトの具体的なあり方がわかるようになる。

到達目標として経営情報とは何かを答えられる。経営情報システムの変遷と情報技術の進展を説明できるようになる。経営情報システムの構築方法を理解して、今後のあり方を説明できる。具体的な企業での例を基に進めるので身近に感じることができると思います。

[授業方法]

講義を行なう。能動的な参加を求める。
 学習方法としてテキストプリントと講義で出てきたキーワードを基に、インターネット、図書館での新聞、経済誌、コンピュータ関連誌などを利用して知識を拡充し、レポートに反映してもらう。

[成績評価の方法]

授業参加態度	20%
小レポートの内容	30%
期末試験	50%

[テキスト]

テキストはプリントしたものを適時、渡します。

[参考文献]

- ・経営情報論 遠山 暁、村田 潔、岸 眞理子 [有斐閣]
- ・経営情報論 岸川 典昭、中村雅章 [中央経済社]
- ・経営情報システム J.エメリー著、宮川監訳、佐藤他訳、「TBSブリタニカ」
- ・戦略的情報システム C.ワイズマン著、土屋他訳、「ダイヤモンド社」

[履修上の注意・その他]

授業運営原則：携帯電話の使用、私語、授業中の教室出入を禁止。
 講義で紹介した内容に関して 参考書を読んで理解を深めること。

[授 業 計 画]

実施回	内 容
1	経営情報とは何か
2	情報システムの発展と課題点
3	MIS、DSS、EUC
4	DWH、BI
5	マネージメント・ダッシュボード
6	経営管理と実務管理における支援システム
7	情報技術と企業変革
8	製造業における情報システム
9	流通業における情報システム
10	金融業における情報システム
11	行政における情報システム
12	システム構築方法
13	経営情報システムの構築方法
14	戦略的情報システム
15	グローバル経営情報システム